

52 上杉小学校

地域とともにある学校づくり

小中一貫教育の実践（教育活動の方向性）

中学校区の目指す子ども像	○自分で考え、仲間と共に、よりよく判断して行動する子 ○「ふるさと三和」を愛する子
我が校の目指す子ども像	○主体的に学習に取り組み、考えを深める子 ○認め合い、協力し合う子



実現に向けた重点的な取組内容	小中一貫教育の具体的な取組	
	我が校の取組	中学校区の取組
	児童自ら見通しをもって主体的に学ぶ姿を授業づくりのテーマとし、次の3観点を中心に、授業改善に取り組んでいく。 ①見通しをもって学習に取り組んでいくことが身に付くような手立て ②自分の考えを振り返り次の学びや生活に生かしていくことが身に付くような手立て ③自ら考え、判断し、表現していくための効果的なICTの活用	昨今、SNSを含めたトラブルが散見されるようになり、区全体で「人とのかわりを通して、自己の存在意義をたかめる」ことを共通ビジョンに取組を進める。 その一つとして「クラス会議」を導入し、児童生徒同士の結び付きを強め、集団としての力を育てていく。 また、市教委による各支援訪問を一括して各校の年間予定に位置付けることで、各校が都合のよい時に、他校の授業実践を参観し、研修を深める。
	成果○と課題■	成果○と課題■
	○担任が3つに観点のどこに重点を置くかによって、授業のねらいが明確になり、児童が意欲的に学ぶ姿がみられ「学ぶ楽しさ」や「分かる喜び」を実感することができた。 ■3つの観点の有効性を検証し、児童の実態分析・把握から、より深い学びを展開できるよう、職員研修を継続していく。	○小学校の統合を見据え、児童生徒同士の結び付きを強め、より一層集団としての力を育てていくには成果が上がった。 ○市教委の支援訪問によりICTを活用した授業をイメージできた。 ■他校の授業を参観しようにも、複式等で職員の手が足らず、小中学校間の授業参観は難しい。

〈夢・志チャレンジスクール事業の取組（地域とともにある学校づくり実践）〉

取組の概要	主な活動内容	
・地域のよさを見付け、地域を愛する心情を育てるよう、地域の教育素材に触れながら課題を設定し、仲間と話し合いながら知恵やアイデアを共有させる過程を大切にした。 ・自分たちでできることは何か、また実現に向けて何が必要かと考え、質問したり互いの考えを交流したりする姿が見られるようになった。	生活科	「チャモちゃんと私たち」（1年）
	生活科	「わたしたちの野菜ランド」（2年）
	生活科 総合	「三和地域の民話を楽しもう」 さんわお話クラブより（全校）
学校運営協議会の評価 ・年間3回の協議会と授業参観を通して、児童の学びの様子を知ることができた。巨大リース作りなど、少人数ならではの個に応じた活動が展開されていることも喜ばしい。 ・児童の要望や自主性を尊重しながら、地域の教育素材を提供していきたい。	夢・志チャレンジスクール事業の取組は、目指す子ども像の実現に有効であった	
		当てはまる
	○	どちらかというと当てはまる
		どちらかというと当てはまらない
		当てはまらない

スクールマネジメント実践報告書

学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成									
教職員	2人	保護者	2人	住 民	7人	その他	1人	合計	12人
学校運営協議会の回数 ※（ ）は、回数内における紙面協議回数	学校単独	1学期	1回 ()	2学期	1回 ()	3学期	1回 ()	合計 3回 ()	
	中学校区合同 ※中学校区で同数にする	1学期	回 ()	2学期	回 ()	3学期	回 ()	合計 回 ()	

活動の内容	成果○と課題■
・コロナ禍の教育活動において、CS委員としてどんな支援が可能か協議し取り組んだ。 ・「三和の自然と地域を育む会」と連携し、2回目の「光の回廊」を文化祭で実施した。荒天の為、屋外での装飾はできなかったが、地区民の心に残るイベントとなった。 ・三和区の児童の居場所づくりを目的とした「ふれあい食堂」に関して、情報提供をいただいた。当校からは6名の参加が見られた。	○これまで制限されていた学校や地域の教育活動が徐々に緩和されている現在、学校だけでは収集できない情報も得ることができ、児童にとっても大きな財産となった。 ■今後、閉校に向け、閉校記念事業実行委員会と連携を図っていく必要がある。幸い両委員を兼ねている部員も多いことから、子どもたちが最後の思い出作りに生き生きと活動できるようサポートしていきたい。

総 括
協議会は年間3回開催することができた。同時に行われた授業参観では、児童の実態を直に観察することで、学校の教育活動全般において、地区民目線での助言をしていただいた。 改めて、地域の宝である児童たちに対する委員の皆さんの強い思いを確認することができた。

〈活動写真〉



○ひまわり学年に11人目のお友達できました。モルモットの「チャモちゃん」です。みんなで協力してお世話を頑張りました。抱いた時のぬくもり、小さな息遣いと鼓動…、生命の大切さを実感しました。



○今年はプランターで野菜作りに挑戦です。ご指導の下、キュウリの棚も自分たちで作りました。虫よけの為、バジルや香草、マリーゴールドなども栽培しました。



○昨年から三和お話クラブの皆様による「お話し会」が復活されました。三和地域にまつわるお話しやオカリナの演奏、手話による合唱等、全校児童が楽しみました。